

# 和歌山盲学校 令和4年度 第3回学校運営協議会記録

開催日時：令和5年2月9日（木）13：40～15：30 和歌山盲学校会議室

出席者：委員6名（代理出席含む） 傍聴人（本校職員等）3人

- 【議題等】 ●報告「第2回会議以降の学校の取組について」  
●議題1「地域と連携した取組について」

## 【内容】

### ●報告1 第2回会議以降の学校の取組について（会議録に基づき事務局から説明）

- ・前回、マンスリータイムスの発行など、HPで学校の取組を発信するよう意見をいただいた。10月以降現在まで13号発行している。広報機関の活用としては、ラジオ番組に2回出演、新聞・ラジオ等の取材は10回以上受けている。
- ・育友会と協力して「2023年和歌山盲学校カレンダー」を作成し、関係機関にも届けた。
- ・県教育委員会事業「わかやまスクールパワーアップ事業」を活用し、1月に和歌山盲学校展を開催した。200人以上の方に来場いただいた。アンケートに回答いただいた方のうち1/5は「盲学校を知っていますか？」の問いに「いいえ」と回答しており、まだまだ広く広報していく必要を感じている。（その後、和歌山盲学校啓発ビデオを視聴）
- ・3月にはJR和歌山支社様に協力いただき、今年も点字ブロックキャンペーンを実施する予定。

### ○報告についての意見・感想

- ・高校生のアンケートの内容から、知ってもらうことからつながりが生まれていくことを実感した。
- ・委員それぞれの立場からどう関わっていくべきか考えさせられた。
- ・学校生活を知ってもらう上で、動画はすばらしい。パワーがある。卒業後、働けるよう、会社や企業へのPRも必要ではないか。企業への発信の仕方を工夫する。盲学校を知ることで企業のハードルも下がるのではないか。

### ●議題1 今年度の取組を振り返って

#### ○学校評価の結果から

- ・保護者の意見の中で、保護者や地域との取組が少ないという回答がある。計画はできていたのか。計画として何をして、何ができなかったかをわかっておく方がよい。
- ・育友会とコミュニケーションをとっていくことが大事。

### ●議題2 学校が取り組むべき課題について

#### ○各委員、事務局から

- ・学校としては紀伊地区との交流を広げていきたいと考えている。自治会の掲示板に生徒の作品を掲示してもらったり、公園の清掃作業などに参加したりできないかと考えている。
- ・自治会との関係は大切。お叱りを受けることもあるが、学校を知ってもらうことが大事。住宅地であるこの地域には住宅よりも先に盲学校が建っていた。そういったつながりを大切にしていく。
- ・センター的機能の役割について、知らない人もいると思うので福祉も連携していきたい。
- ・保護者の立場として、卒業後の進路について考えたい。今ある業務に視覚障害の人をあてはめるのではなく、視覚障害の人のできる業務を考えていけないか。新しい仕事にもつながる。企業にも盲学校や視覚障害の人を知ってもらえるよう働きかけていければ。

### ●その他

- ・きのくにアイねっとリーフレットの改訂について報告

※学校評価アンケートへの協力を依頼。